

資料 5

基本計画に対する答申

令和3年2月18日

三郷市長 木津 雅晟 様

三郷市まちづくり委員会
委員長 豊田 幹雄

第5次三郷市総合計画について(答申)

平成31年4月24日付三企発第3号で諮問のあった第5次三郷市総合計画の前期基本計画(案)について、当委員会では慎重に審議した結果を次のとおり答申します。

答 申

第5次三郷市総合計画の前期基本計画(案)については、近年の社会情勢の変化や、三郷市の状況をふまえつつ、これまでも委員会の中で議論を重ねてきました。当委員会では慎重に審議を重ねた結果、概ね妥当と認めます。

なお、委員会において、意見、要望があったため計画の運用について別紙のとおり付記します。

【別紙】前期基本計画について

- ・SDGsの考え方を十分尊重しながら、各種の施策の実施を行うよう努められたい。
- ・災害に強いまちづくりを推進するため、防災に加え、減災の視点も重視されたい。
- ・「子どもの貧困問題」についても、十分な配慮をしていくことに努められたい。
- ・緑と水辺が身近に感じられるまちづくりを引き続き推進されるとともに、地球と人にやさしい環境づくりを推進されたい。
- ・拠点の整備等を進めていくとともに、メンテナンスや長寿命化などの観点もより重視されたい。
- ・市内の移動手段の確保については、引き続き改善を行うことで、よりスムーズに移動できる環境を整えるよう努められたい。
- ・国際交流など様々な交流を推進し、多様性を認め合う社会構築を進められたい。
- ・性別に関わらず、誰もが活躍できる社会の実現に向けてジェンダー平等を推進されたい。
- ・従来の健康づくり等に加え、新たな感染症への対応についても迅速で的確な対応が可能な体制づくりを推進されたい。
- ・「住みやすいまち」にしていくこととともに、「交流しやすいまち」という視点も重視されたい。また、まちや地域への愛着の醸成を行うよう努められたい。
- ・観光PR、シティプロモーションによる魅力発信や三郷のブランド化をより積極的に行うよう努められたい。
- ・まちづくりに関わる諸問題の解決や業務の効率化などの分野に、ICT・AI を積極的に活用されたい。

